

平成26年2月12日

南丹市教育委員会  
教育長 森 榮 一 様

南丹市社会教育委員会  
代表 小 畑 弘

答 申 書

平成25年5月16日、本委員会に対して諮問のありました下記の事項について検討を重ねてまいりました結果、次のとおり結論を得ましたので、ここに答申いたします。

記

今後の社会教育施設の在り方について

## 答 申

はじめに

社会教育の基本は、人間の生涯にわたる成長発達の可能性と、持続可能な地域社会の発展の可能性、この二つの可能性を重ね合わせながら花を咲かせていく役割を担わなければなりません。

この視点に立って諮問された「社会教育施設の在り方について」、まず、市内の社会教育施設、全13施設について事業概要や維持管理・運営についてその経費も含め、つぶさに点検・検討を行いました。こうした中で、とりわけ旧町の拠点施設である、園部公民館、八木公民館、日吉町生涯学習センター、美山文化ホールについては、施設の連携と機能集約、拡充等管理・運営上の課題が顕著となっています。また、社会教育施設の一部については、他の類似施設と管理上の不整合が見られたり、施設設置の経緯があるものの、整理・統合・譲渡等がふさわしいと思われるものがあります。

今後の社会教育施設の在り方について検討するに当たり、老朽化・耐震化、効率的な活用、施設に対する住民意識の把握、施設の設置目的と現状運営との差異、また新市発足の理念がゆるやかな合併であったことによる既存の施設を多く抱え込んだことによる施設数の多さや維持管理経費の問題など、多くの課題が浮かび上がってきました。

市域が広く、過疎・高齢化の進む市域への配慮は、学習機会の平等という原則から欠くことができません。共有、協働の理念が先行しつつあることも踏まえて、次のように提言します。

## 1 拠点施設の方向性について

築30年以上の社会教育施設があり、老朽化が進んでいます。これらの施設の耐震化と施設の方向性を見定めながら大規模な修繕若しくは、施設機能の集約等の検討が必要です。また、本館や分館という視点も取り入れながら施設に特徴を持たせ、より充実させることが望まれます。その観点は、主に研修の場とするか、イベントとか大集会用とするかであり、近隣の施設の利活用も考慮することによって一部施設の廃止も含めて集約化するもの、或いは耐震化や改修をするものに方向性を区分けし、決めていく必要があると考えます。

### (1) 園部公民館

老朽化が著しい。加えて利用の偏重や手狭などの問題が見られます。近隣にある南丹市国際交流会館が類似施設として活用できるように、今後、機能集約や統合も含めた検討が必要です。そのための利用料改定も必要となってきます。

### (2) 八木公民館

老朽化が著しい。今後、近隣の八木支所等の部屋の一部に公民館的機能を持たせるなどの工夫を行うことで、市民の利便性、安全性の向上に配慮した検討が必要です。

### (3) 日吉町生涯学習センター

充実した施設で設備が整っている。近隣の日吉支所等施設間の連携、機能集約については、美山文化ホールとの連携も検討課題の一つです。

### (4) 美山文化ホール

施設は比較的新しいものの設備に老朽化が認められる。美山支所及び日吉町生涯学習センターとの連携はもとより、今後の利用形態の見直しも含めた検討が必要です。

## 2 施設の転用及び移管等に向けて

設置当初の役割を終えた教育集会所については、地元や関係機関への移管・譲渡など、様々な観点から検討が必要です。

### 3 施設の利用促進・活性化に向けて

中央図書館及び各図書室、文化博物館、郷土資料館については、施設の利用促進や利用者サービスの向上に一層努め、地域の情報発信基地としての役割が求められています。

また、社会教育施設の活性化には、創意工夫により所属職員の果たす役割が大きいと思われまます。指定管理制度の検討も含めて、関係する団体・サークルなどと連携し、より住民に親しまれ活用される施設となるよう、一層の努力を期待します。

### 4 施設間の均衡と社会教育団体の育成に向けて

手続き、使用料、減免措置について点検し、統一した取り扱いが求められます。手続きの簡素化や利便性の向上については、引き続き検討が必要です。また、減免については、応分の負担を原則としつつ一定の割引制を採用するなど、社会教育団体の育成という観点からも改善が必要です。

### 5 社会体育施設について

社会体育施設については、施設の現状や市民ニーズを的確に把握し、廃止・統合が必要な施設、今後も継続し、機能の充実等を図る施設、新たに整備する施設等引き続き検討をする必要があります。

### 結びにあたり

社会教育は人の心や体を元気にするものとの前提で施設の有り様を考えていくと、より身近な所に施設があること、利用しやすい施設であることが求められます。加えて、市の描くまちづくり構想や財政も考慮しなければなりません。この両者がより接近する形で今回の諮問にこたえる形の提言としてまとめました。

活力ある町づくりに生涯学習の施設や機会が大きく貢献する形でこの答申が活かされることを付け加え、提言とします。